

平成 27 年度

# 適性検査 I

## 注 意

- 1 「始め」の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 検査問題は、【問 1】から【問 4】まであり、問題冊子の 2～11 ページに印刷されています。
- 3 問題冊子とは別に、2 枚の解答用紙（解答用紙①は【問 1】から【問 3】用、解答用紙②は【問 4】用）があります。解答は、解答用紙①は横書きで、解答用紙②は縦書きで、すべて解答用紙の  の中に書きましょう。
- 4 検査が始まってから、印刷がはっきりしないところや、ページが足りないところがあれば、静かに手をあげてください。
- 5 下書きなどが必要なときは、問題冊子のあいているところを使いましょう。
- 6 字数を指定された解答については、句読点（。、）や、かぎかっこ（「 」『 』）なども 1 字に数えて答えましょう。
- 7 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きましょう。
- 8 2 枚の解答用紙それぞれに受検番号、氏名をまちがいのないように書きましょう。

【問1】 各問いに答えなさい。

- (1) 優<sup>まさる</sup>さんは、外国語活動の授業で英語によるじゃんけんを体験し、じゃんけんに興味をもちました。様々なじゃんけんについて調べ、メモにまとめています。

メモ

**【日本のじゃんけん】**

	登場するもの	強弱関係について
通常のじゃんけん	はさみ、石、紙	はさみは、紙を切ることはできるが、石を切ることはできない。紙は、石を包むことができる。
虫けん	へび、かえる、なめくじ	「へびににらまれたかえる」という言葉がある。「へびは、なめくじをおそれる」という話は、中国の古い書物がもとになっているらしい。

強弱関係を示す図

通常のじゃんけん

```

graph TD
    A(はさみ) --> B(紙)
    B --> C(石)
    C --> A
    
```

虫けん

わかったこと・考えたこと

2つのじゃんけんに共通しているのは、3つのものが登場して、そのどれもが **A** という点。どれか特定のものが強かったり、弱かったりはしない。

---

**【フランスのじゃんけん】**

強弱関係を示す表

	はさみ	石	木の葉	井戸
はさみ	△	×	○	
石		△	×	
木の葉			△	
井戸				△

- ・この×は、はさみが、石に負けることを示している。
- ・この○は、はさみが、木の葉に勝つことを示している。
- ・4つの△は、あいこになることを示している。

わかったこと・考えたこと

- ・4つのものが登場する。木の葉は、日本のじゃんけんの紙にあたるものだ。
- ・日本のじゃんけんに登場しない井戸<sup>いど</sup>は、はさみや石を沈<sup>しず</sup>めてしまうので勝つが、木の葉にふさがれてしまうので負ける。
- ・このじゃんけんの場合、どれも同じ強さになるわけではない。

- ① 虫けんの強弱関係を示す図を、通常のじゃんけんの図にならってかきなさい。
- ② **A** に入るふさわしい内容を、一方という言葉<sup>一方</sup>を2回使って書きなさい。
- ③ 【フランスのじゃんけん】の強弱関係を示す表を完成させなさい。


④ 優さんは、友だちの<sup>さとし</sup>智さんとフランスのじゃんけんを1回してみました。

智：負けちゃったなあ。優さんが **B** を出すとは思わなかったよ。  
優：智さんが **C** を出すんじゃないかと予想してみたんだ。  
智：ぼくは、この4つの中では **C** が一番勝つ可能性が高いと思ったんだ。2つのものに勝てる **C** と **D** では、**C** の方が強いからね。  
優：智さんのその考えを、ぼくが見ぬけたということだね。  
智：このじゃんけんには、日本のじゃんけんとはちがうおもしろさがあるね。

**B** ~ **D** に入る最もふさわしいものを、次のア~エからそれぞれ1つずつ選び、記号を書きなさい。

[ ア はさみ      イ 石      ウ 木の葉      エ 井戸 ]

(2) 6年生の<sup>ゆうた</sup>雄太さんの学級では、自転車通行の仕方について考え合う、交通安全の学習をしています。

先生：中学校に入学すると、自転車に乗ることが多くなりますね。  
雄太：ぼくは、兄といっしょに自転車通学をする予定です。  
先生：**自転車通行のきまり**（資料1）を見てください。自転車は、原則として車道を通ることになっていますが、例外があります。みなさんは、もうすぐ **a** 例外ではなくなります。  
絵美：わたしの家のまわりでは、多くの自転車が歩道を通っていますが、通行を許可されているのですか。  
先生：「自転車歩道通行可」の標識（）がある歩道は、自転車での通行が許可されています。  
絵美さんの家の近くにも、この標識があると思います。  
雄太：**b** 車道を通るときと、歩道を通るときでは、  
どちらの方がより注意が必要になるのかな。

**資料1 自転車通行のきまり**  
○車道通行が原則である。  
○車道では左側のはじを通行する。  
○次の場合は歩道を通ることができる。  
・標識等で通行可とされている場合  
・13歳未満の子どもや70歳以上の方、身体の不自由な方の場合  
・安全上やむを得ない場合

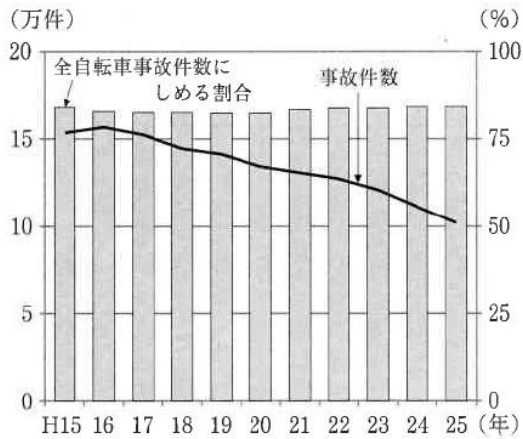
(道路交通法より作成)

① 下線部 **a** とは、具体的にはどのようなことですか。資料1をもとに、次の **あ** ~ **う** に入る最もふさわしい言葉を書きなさい。

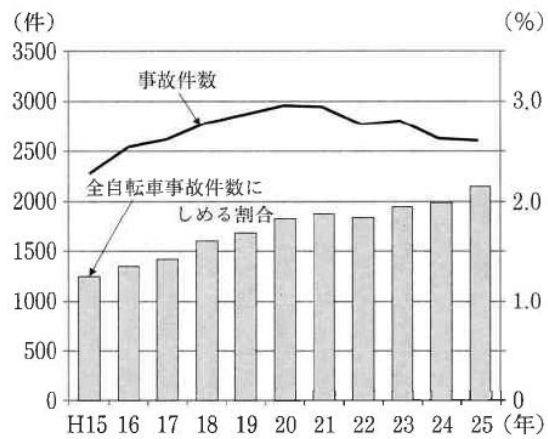
これまでは、 **あ** と **い** の両方を通行することができていたけれど、 **う** になると、原則として **あ** の通行ができなくなること。

- ② 下線部 **b** の疑問をもった雄太<sup>きもん</sup>さんは、自転車事故について調べ、資料 2、3 を見つけました。

資料 2 自動車との事故



資料 3 歩行者との事故



(資料 2、3 は警察庁資料より作成)

- (i) 資料 2、3 をもとに、平成 25 年の自転車事故について、平成 15 年と比べました。どのようなことがいえますか。次のア～エから正しいものをすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 自動車との事故については、事故件数も、全自転車事故件数にしめる割合も、約  $\frac{2}{3}$  倍になった。
- イ 歩行者との事故件数は増え、自動車との事故件数を上回った。
- ウ 歩行者との事故については、全自転車事故件数にしめる割合が 1.5 倍以上になった。
- エ 自動車との事故件数と同様に、全自転車事故件数も減少した。

- (ii) 資料 2、3 から、雄太さんは、下線部 **b** の疑問に対して、次のまとめを書きました。 え に入るふさわしい文を書きなさい。ただし、事故件数と全自転車事故件数にしめる割合の 2 つの言葉を使って書くこと。

まとめ

車道を通行するとき起きやすい、自動車との事故については、事故件数は減ってきているものの、今なお 10 万件を上回っている。

一方、歩道を通行するとき起きやすい、歩行者との事故については、。

このように、車道と歩道のどちらかが安全というわけではないので、どちらを通行するときにも十分に注意したい。

【問2】 桜町立桜小学校では月に1回、クラスごとに考えた献立が「希望献立」として給食に出されます。6年2組にも、給食委員会の先生から、献立を考えてほしい、というお願いの手紙が届きました。

お願いの手紙

6年2組のみなさんには、12月の献立を担当してもらいます。献立を考えるときは、希望献立の条件を守ってくださいね。

希望献立の条件

- 主食はごはんです。おかずを2品、汁物を1品考えてください。牛乳は1人1本つきます。
- 桜町で収穫される野菜を使ってください。
- 献立は、750\*キロカロリー以内にしてください。



〔 750キロカロリーの中には、ごはん220キロカロリーと牛乳140キロカロリーを合わせた360キロカロリーを含みます。 〕

\*キロカロリーは、体を動かすために必要なエネルギーを表す単位です。

献立が決まったら、紹介文もつくってください。どんな献立になるのかな？楽しみに待っています！

6年2組では、どんな献立にするかを考えるために調査を行い、調査結果にまとめました。そして、各班で考えた献立から2つの献立案にしぼり、さらに、話し合いでどちらかに決定することにしました。各問いに答えなさい。

調査結果

<p><b>資料1</b> 6年2組が給食で食べたい料理のアンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カレー (21人)</li> <li>・ハンバーグ (18人)</li> <li>・からあげ (14人)</li> <li>・シチュー (11人)</li> <li>・とん汁 (9人)</li> <li>・グラタン (8人)</li> <li>・ポテトサラダ (6人)</li> <li>・焼き魚 (3人)</li> </ul>	<p><b>資料2</b> 桜町で収穫される主な野菜の収穫量</p> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>資料2: 桜町で収穫される主な野菜の収穫量 (トン)</caption> <tr><th>野菜名</th><th>収穫量 (トン)</th></tr> <tr><td>キャベツ</td><td>180</td></tr> <tr><td>きゅうり</td><td>100</td></tr> <tr><td>大根</td><td>200</td></tr> <tr><td>玉ねぎ</td><td>250</td></tr> <tr><td>にんじん</td><td>80</td></tr> <tr><td>白菜</td><td>220</td></tr> </table>	野菜名	収穫量 (トン)	キャベツ	180	きゅうり	100	大根	200	玉ねぎ	250	にんじん	80	白菜	220	<p><b>資料3</b> 桜町で収穫される主な野菜の収穫時期</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>野菜名</th> <th>春</th> <th>夏</th> <th>秋</th> <th>冬</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>キャベツ</td><td></td><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td>きゅうり</td><td></td><td>■</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>大根</td><td></td><td></td><td>■</td><td>■</td></tr> <tr><td>玉ねぎ</td><td>■</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>にんじん</td><td></td><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td>白菜</td><td></td><td></td><td>■</td><td>■</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">■ 収穫できる時期</p> <p style="text-align: right;">(資料2, 3は農林水産省資料を参考に作成)</p>	野菜名	春	夏	秋	冬	キャベツ			■		きゅうり		■			大根			■	■	玉ねぎ	■				にんじん			■		白菜			■	■
野菜名	収穫量 (トン)																																																		
キャベツ	180																																																		
きゅうり	100																																																		
大根	200																																																		
玉ねぎ	250																																																		
にんじん	80																																																		
白菜	220																																																		
野菜名	春	夏	秋	冬																																															
キャベツ			■																																																
きゅうり		■																																																	
大根			■	■																																															
玉ねぎ	■																																																		
にんじん			■																																																
白菜			■	■																																															

献立案

	A案	B案
おかず	ハンバーグ (170) 〈ふたひき肉, 玉ねぎ, たまご〉	焼き鮭のゆずみそがけ (150) 〈鮭, ゆず〉
汁物	白菜のシチュー (135) 〈白菜, 玉ねぎ, にんじん, ジャがいも〉	白菜の浅づけ (60) 〈白菜, こんぶ〉
汁物	白菜のシチュー (135) 〈白菜, 玉ねぎ, にんじん, ジャがいも〉	かぼちゃ入りみそ汁 (120) 〈かぼちゃ, にんじん, 大根, 長ねぎ, とうふ〉

( ) の単位はキロカロリー, < > は主に使われる食品名

## 話し合い

司会：まず、それぞれの献立について、もう一度説明してください。

直也：A案は、アンケート結果を組み合わせた献立です。最初は、ポテトサラダを入れようと思ったのですが、a 献立として750キロカロリーを超えてしまうので、大根サラダに変更して提案しました。

信平：B案は、総合的な学習の時間にクラスで調べている「日本の伝統」の一つである「和食」の特ちょうを取り入れた献立です。

司会：では、2つの案について意見を出してください。

仁：ぼくは、A案に賛成です。A案は **あ** なので、他のクラスでも人気があると思います。だから、全校のみなさんにも喜んでもらえる献立になっていると思います。

華：わたしも、A案に賛成です。仁さんに加えて、A案は **い** であるし、さらに **う** なので、希望献立としてふさわしい献立だと思います。

咲子：わたしは、B案に賛成です。B案もA案と同じで、**い** であるといえます。それに、和食は年中行事との結びつきを大切にしています。冬至のころに、かぼちゃを食べて、ゆず湯に入ると、かぜをひかないと言われています。だから、B案は、和食の特ちょうを生かした献立になっていると思います。

浩太：ぼくも、B案に賛成です。ごはん、みそ汁、魚や野菜を使ったおかずを組み合わせた和食は、栄養のバランスが整いやすい、という特ちょうがあります。B案は、この特ちょうが生かされていると思います。

司会：A案は、**あ**、**う** であるという特ちょうがあります。一方のB案は、わたしたちが調べてきた和食の特ちょうを取り入れています。どちらの献立にもよさがありますね。わたしたちにとって、この桜小学校で希望献立を考えるのも最後になります。6年2組として、最後にふさわしい献立はどちらかも考えながら、意見を出してください。

駿：ぼくは、B案に賛成です。A案は、他のクラスでも考えられる献立かもしれませんが、B案は、6年2組でしか考えられない献立ではないでしょうか。最後の希望献立は、ぼくたちが食べたいものを出してもらうことより、b ぼくたちが学習してきたことを、全校のみなさんに伝えることの方がよいと思います。

華：わたしは、A案に賛成していましたが、B案の方が最後にふさわしい献立

ではないかと思えてきました。みなさんは、去年の6年1組の希望献立を覚えていますか。学級園で野菜を育て、「野菜のおいしさを、全校のみなさんにも味わってもらいたい」という願いがこめられていました。わたしたちも、希望献立を通して全校のみなさんに、6年2組としてのメッセージを伝えませんか。

- (1) 下線部 a の理由を、次の  のように表すとき、 に入る数を書きなさい。

ポテトサラダが  キロカロリーを超えてしまうから。

- (2) 話し合いの  あ ~  う に入る最もふさわしいものを、次のア～エから1つずつ選び、記号を書きなさい。

- |   |                                 |
|---|---------------------------------|
| ア | 桜町で、12月ごろに収穫される野菜を使った献立         |
| イ | 桜町で、最も収穫量が多い野菜を使った献立            |
| ウ | 全校のみなさんが、食べたい料理を組み合わせた献立        |
| エ | 6年2組のアンケート結果で、上位に入った料理を組み合わせた献立 |

- (3) 司会が話し合いの  のように進行したことを、次の  のようにまとめるとき、 え ,  お に入るふさわしい言葉を書きなさい。

2つの案の  え を明らかにして、決定するための  お を示した。

- (4) 話し合いの結果、希望献立はB案に決定し、紹介文をつくることにしました。下線部 b の内容が具体的に伝わるように、紹介文の  か ~  く に入るふさわしい言葉や文を書きなさい。ただし、 か は7字、 き は10字で、話し合いからぬき出して書きなさい。 く は、話し合いの言葉を使って書きなさい。

### 紹介文

#### 6年2組 冬の和風献立

6年2組は、総合的な学習の時間に「日本の伝統」について調べています。そこで今日は、希望献立を通して、全校のみなさんに  か をお伝えします。昔から「冬至のころに、かぼちゃを食べて、ゆず湯に入ると、かぜをひかない」と言われています。今日の献立にも、かぼちゃとゆずを使い、 き を大切にしている和食らしい献立にしました。

また、献立全体にも注目してください。 く 。これも、和食らしさの一つです。

今日の給食には、桜町で収穫された野菜もたっぷり使われています。しっかり食べて、この冬を元気に過ごしましょう！





【問3】 隆<sup>たかし</sup>さんは、秋に家族で山へ行きました。そして、お父さんに、黄色く色づいている木は長野県にたくさん植えられているカラマツだと教えてもらいました。

カラマツに興味をもった隆さんは、おじいさんの話（資料1）を聞き、資料2を見つめました。各問いに答えなさい。

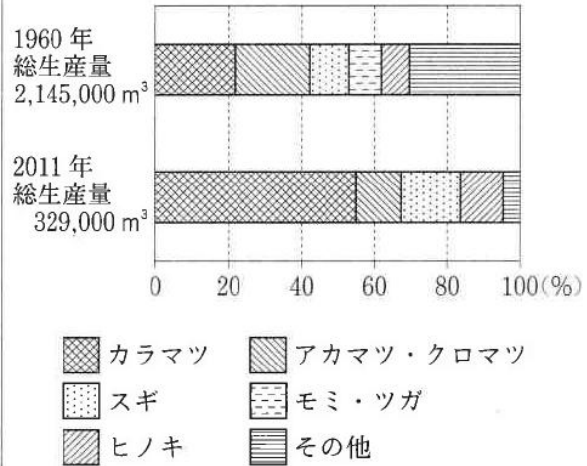
資料1 おじいさんの話

カラマツは、水に強く、くさりにくいから、建物を建てる時、基礎の「くい」として使われていたんだよ。建物の地中に、くいを縦に何本も打ち込んで、建物が倒れないようにしたんだ。

家のかべ板や柱などには使われなかったけれど、ビールびんを入れるケースや、りんご箱には使われていたよ。

今では、くいはコンクリートに、ビールケースやりんご箱は、段ボールやプラスチックになってしまったね。

資料2 長野県の木材生産量



(農林水産省資料より作成)

(1) 隆さんは、資料1、2をもとにわかったこと1と疑問<sup>きもん</sup>をまとめました。

わかったこと1

- ・くいやりんご箱などには、以前はカラマツが使われていたが、現在では別の **A** にかわってしまったようだ。
- ・カラマツの2011年の生産量は、1960年よりも **B** している。
- ・カラマツの生産量は、1960年には長野県の木材総生産量の約 **C** 分の1であったが、2011年では約 **D** 分の1をしめている。

疑問

**E** がなくなってしまったはずなのに、カラマツの生産量が、現在、他の木材に比べて多いのはなぜだろう。

- ① **A** , **B** に入るふさわしい言葉を、漢字2字で書きなさい。
- ② **C** , **D** に入る最もふさわしい数を、下の【 】からそれぞれ1つずつ選び、書きなさい。  
【 2 , 3 , 5 , 20 , 30 , 50 】
- ③ **E** に入るふさわしい言葉を、5字以内で書きなさい。



(2) 隆さんは、疑問について、材木屋さんに取材をしました。そして、わかったこと2をもとに、まとめを書きました。

わかったこと2

◇カラマツの特ちょう

<ul style="list-style-type: none"> <li>・苗<sup>なえ</sup>を作りやすい</li> <li>・強度が高い</li> <li>・ねじれやすい</li> <li>・*やにがにじみ出る</li> <li>・水に強く、くさりにくい</li> <li>・われやすい</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※やに：木からしみ出る、ねばりけのある液

◇カラマツの活用につながった新しい技術と改良点

技術	脱脂乾燥 <sup>だっしつかんそう</sup> （蒸して高温で乾燥）させる技術	集成材（小さく切った板をはり合わせた木材）にする技術
改良点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やにがにじみ出にくくなった。</li> <li>・ねじれたり、われたりすることを防ぐことができるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由な長さや太さにしたり、弓のように曲げたりできるようになった。</li> <li>・くさっている部分や、節の部分を使わないため、品質のばらつきがなくなった。</li> </ul>

◇新しい技術によって広がったカラマツの活用

【脱脂乾燥させることによって】  
板としての活用ができるようになり、学校の体育館などの公共の建物や住宅<sup>じゅうたく</sup>のかべ板として活用

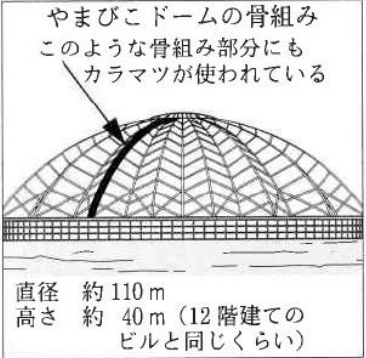
【脱脂乾燥させ、さらに集成材にすることによって】  
大きな建物の骨組み<sup>ほねぐみ</sup>から、住宅の柱まで広く活用

《大きな建物の例》「やまびこドーム」

- ・少年サッカーコート1面分が取れる広さがあり、スポーツだけではなく、いろいろなイベントにも使用されている。
- ・図のように球を半分にしたような形で、上から見ると円になっている。

図

やまびこドームの骨組み  
このような骨組み部分にも  
カラマツが使われている



直径 約 110 m  
高さ 約 40 m (12階建てのビルと同じくらい)

まとめ

・カラマツには、a 使いにくい特ちょうがあったから、以前は家のかべ板や柱などには使われていなかった。

・脱脂乾燥させる技術によって、カラマツのいくつかの **F** が解消された。それによって、カラマツは、体育館や家のかべ板にも使われるようになった。

・さらに、 **G** によって、今まで木造ではできなかった大きな建物に使われたり、家の柱にも広く使われたりするようになった。

○つまり、カラマツの生産量が、現在、他の木材に比べて多いのは、 **H** からだと思った。

- ① 下線部 a は、どのような特ちょうですか。3つの特ちょうを、わかったこと2から、ぬき出して書きなさい。
- ② **F** ~ **H** に入るふさわしい言葉を書きなさい。ただし、**F** は2字で、**G** は8字で、**H** は15字以上25字以内で書きなさい。

著作権法に基づき、  
公開しません。

(インタビュー①・②は、「PHP 二〇一四年四月号」より)

※設え：みだれたところが無いように整え、用意すること。  
※禁忌：日時や方角、言葉や行動などで好ましくないもの。また、好ましくないものとして禁止すること。タブーと同じ意味の言葉。

(1) インタビュー①・②で取り上げている三つの事柄<sup>ことば</sup>について次のように表をまとめました。**A** **C** に入る最もふさわしい言葉を、文中の言葉を使って、十五字以内で書きなさい。

事柄	方法	目的
京料理	<b>A</b>	素材本来の味を引き立たせる
いけばな	かすみ草を使う	<b>B</b>
もてなし	お客様の立場でものを考える	<b>C</b>

(2) お客様をもてなすことで、もてなす側が得られるものは何ですか。文中から最もふさわしい言葉を、十六字でぬき出して書きなさい。

(3) 次の資料は、安土桃山時代の茶人、千利休が茶道の心得として説いた「利休七則」です。資料の一〜七から一つ選び、その内容とインタビュー①または②の内容との共通点を取り上げ、そのことについての自分の考えを条件にしたがって書きなさい。

資料

著作権法に基づき、  
公開しません。

(森谷尅久「身につけよう！日本人のおもてなしの心」より作成)

条件

- ・二段落構成とし、一段落目には、資料とインタビュー①または②に書かれた言葉や内容を具体的に取り上げ、共通点を書きなさい。
- ・二段落目には、取り上げた共通点についての自分の考えを書きなさい。
- ・文字数は一六〇字以上二〇〇字以内とし、一行目から文章を書くこと。書き出しや段落を変えたときの空白になるます目も一字に数えます。なお、句読点が行の最初にくる場合は、前の行の最後のます目に文字といっしょに書くこと。

(下書き用のます目は、12ページにあります。)

【問4】 次の文章は華道家の笹岡隆甫さんが「もてなしの心」について、インタビューに答えた文章の一部です。  
インタビュー①・②を読み、各問いに答えなさい。  
インタビュー①

著作権法に基づき、  
公開しません。

インタビュー②

著作権法に基づき、  
公開しません。

